

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

田中はじめ市議が 2月議会代表質問 コロナ対策、原発問題等を 市長に問う

吉川県健康福祉部長に申し入れる
県議団と吉儀市議

日本共産党の尾村利成・大國陽介両県議は9日、県に新型コロナウイルス感染症の対策を求める緊急申し入れを行いました。松江市議団からは、

新型肺炎問題「保険証を持たない市民の受診抑制防止を」 党県議団・吉儀市議が緊急申し入れ

橘議員と田中議員が総務委員会出席中のため、吉儀けい子議員が参加しました。

申し入れでは▽受診抑制防止と新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県内の資格証交付世帯に対し、直ちに保険証を交付すること▽少なくとも厚生労働省通知の趣旨を資格証発行世帯に徹底すること等を、吉川敏彦健康福祉部長に要請しました。

厚生省は2月28日に「国民健康保険の被保険者資格証の方が新型コロナウイルス感染症の発症疑いのため、指定医療機関を受診した場合は、一



質問する田中はじめ市議

田中はじめ市議が新型コロナウイルス対策、 原発問題、少人数学級編成問題など6項目で代表質問

2月定例市議会で、共産党市議団は、2日に田中はじめ市議が新型コロナウイルス対策、原発問題、少人数学級編成問題など6項目で代表質問を行いました。続いて、3日には吉儀けい子市議が一問一答質問、4日に橘よしあき市議が一括質問を行いました。（2面）

田中市議は、新型コロナウイルス対策について、「これ

までの政府の対応が、水際対策、クルーズ船対応、感染拡大と重症患者への医療体制確保、市民生活と経済活動への重大な悪影響への対応など、あらゆる面で後手、後手に回ってきた」と指摘しました。

感染者の病床数を確認

さらに、安倍首相が全国すべての小・中・高校の春休みまでの休校を要請するという事態の下、全国では市民生活

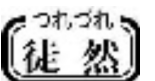
増員に必要な財政支援についてどのように検討しているかを質しました。

これに対し、松浦市長は、
① 松江赤十字病院に2床、松江市立病院に4床設置されている。
② これらの病床は現在利用できる状況にある。
③ 市立病院の感染症病床確保による減収相当分は、基準により繰り出している。看護師等医療従事者の増員が必要となった場合は、必要な財政支援を実施していきたい等と答えました。

普段から、余裕ある 医療体制の構築を訴える

さらに、田中はじめ市議は、「今回の問題は普段から余裕を持った医療体制を準備しておくことの重要性を示したのではないかと指摘し、「政府が医療機関名を名指しして統廃合を促すなどは、今後もありうる新たな感染症対策のために必要な医療体制の準備に逆行する。県や政府に対し、医療機関・病床数の削減ではなく、ゆとりある医療体制の確立を求めるべきではないか」と質しました。

これに対し、松浦市長は、「公立、公的病院の再編統合は、国、県により一律機械的に決められるものでなく、医療機関の自主的な取り組みとして進められるべきものと認識している」と答えました。



安倍政権を批判した映画『新聞記者』が第43回日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀主演女優賞、最優秀主演男優賞を受賞した。

主人公の記者を演じたシム・ウンギョンの、受賞を予想しなかったという号泣にテレビの前で共に涙した人も多かったのではないだろうか。

映画『新聞記者』は、一月に來松した東京新聞の望月衣塑子氏の著書を原案に、安倍政権の闇、官邸の調略機関・内閣調査室を描いている。医療系大学の新設に絡む疑惑をメインに、政権に睨まれた文科省官僚に対するスキャンダル攻撃、総理ベッタリ記者による性暴力被害ともみ消しを訴える告発、政権とメディアの癒着・圧力、官僚の自殺など、実際に起きた事件を下敷きにして起きていることは言うまでもない。

あえて参院選前に公開したというこの映画。官邸への付度か、テレビでの宣伝はほとんどできなかったという。それでもSNS等での話題となり、結果的に昨年の映画の頂点にたつという快挙となった。

劇中、内調の幹部は「この国の民主主義は、形だけでいいんだ」と言い放つ。ウンギョン演じる主人公の記者・吉岡の「このままでいいんですか。私たち、このままでいいんですか」という言葉が私たちに問いかける。（柚）